

# 酒井泰弘教授 略歴と業績

## 略 歴

昭和15年（1940）12月19日 大阪府にて誕生

### 学 歴

- 昭和34年（1959）3月 大阪府立住吉高等学校卒業  
 昭和34年（1959）4月 神戸大学経済学部入学  
 昭和38年（1963）3月 同上卒業  
 昭和38年（1963）4月 神戸大学大学院経済学研究科修士課程入学  
 昭和40年（1965）3月 同上修了  
 昭和40年（1965）3月 経済学修士（神戸大学）  
 昭和43年（1968）7月 米国コロラド大学経済研究所特別研究生  
 昭和43年（1968）9月 米国ロチェスター大学大学院経済学研究科修士課程入学  
 昭和45年（1970）6月 同上修了  
 昭和45年（1970）6月 経済学修士（ロチェスター大学）  
 昭和45年（1970）9月 ロチェスター大学大学院経済学研究科博士課程入学  
 昭和46年（1971）6月 同上単位取得修了  
 昭和47年（1972）9月 経済学博士（ロチェスター大学）

### 職 歴

- 昭和40年（1965）4月 神戸大学経済学部助手  
 昭和43年（1968）4月 神戸大学経済学部専任講師  
 昭和46年（1971）9月 米国ピッツバーグ大学経済学部助教授  
 昭和46年（1971）9月 米国ピッツバーグ大学大学院経済学研究科博士課程担当  
 昭和50年（1975）5月 広島大学政経学部助教授

- 昭和50年（1975）5月 広島大学大学院経済学研究科修士課程担当
- 昭和52年（1977）4月 広島大学経済学部助教授
- 昭和52年（1977）4月 広島大学大学院経済学研究科博士課程担当
- 昭和54年（1979）3月 筑波大学社会科学系助教授
- 昭和54年（1979）3月 筑波大学大学院社会科学研究科博士課程担当（経済学専攻）
- 平成2年（1990）6月 筑波大学社会科学系教授
- 平成3年（2001）4月 筑波大学大学院人文社会科学研究科博士課程担当（社会科学専攻，経済学コース）〔創設：ミクロ経済学担当，マル合教授〕
- 平成14年（2002）4月 筑波大学名誉教授
- 平成14年（2002）4月 滋賀大学経済学部教授
- 平成14年（2002）4月 滋賀大学大学院経済学研究科修士課程担当
- 平成15年（2003）4月 滋賀大学大学院経済学研究科博士課程担当（経済経営リスク専攻）〔創設：リスクの経済学担当，マル合教授〕
- 平成16年（2004）4月 国立大学法人滋賀大学経済学部教授
- 平成16年（2004）4月 国立大学法人滋賀大学大学院経済学研究科博士課程担当（経済経営リスク専攻）

### 学会及び社会における活動

日本リスク研究会元会長，生活経済学会元会長，日本地域学会前会長，日本経済学会理事，進化経済学会常任理事，PPR研究会理事，米国ニューヨーク大学日米経営経済研究センター研究理事，日本保険学会会員，応用地域学会会員，American Economic Association 会員，European Economic Association 会員，Econometric Society会員など。

日本学術会議第19期会員（第3部），日本学術会議第20期連携会員，日本学術会議運営審議会附置日本の計画委員会委員，日本学術会議経済政策部会研究

### 連絡委員

社会保険専門委員会委員（厚生省関連），労働安全専門委員会委員（労働省関連），高速道路と交通専門委員会委員（建設省関連），保険文化研究会委員（生命保険文化センター）など。

日本リスク研究学会誌編集委員，生活経済学研究編集委員，日本地域学会誌編集委員，

*Journal of Risk Research*, Editorial Board; *Journal of Regional Economics*, Associate Editor; *Evolutionary and Institutional Economic Review*, Editorial Board など

### 賞 罰

- 平成11年（1999）4月 郵政大臣表彰（貯金制度の発展に対する部外功労者）  
 平成14年（2002）4月 総務大臣表彰（保険制度の発展に対する部外功労者）  
 平成14年（2002）11月 日本リスク研究学会賞（リスク研究の発展に対する功績）  
 平成16年（2004）7月 大韓民国学術院長表彰（韓国と日本の学術交流に対する功績）  
 平成17年（2005）10月 日本地域学会功績賞（地域科学の発展に対する功績）

## 業 績 目 録

### 著 書

- |                                       |         |         |
|---------------------------------------|---------|---------|
| 『近代経済学——ミクロ経済の理論』（共著）                 | 有斐閣     | 1978年3月 |
| 『不確実性の経済学』                            | 有斐閣     | 1982年3月 |
| 『ミクロ経済学』（共著）                          | 有斐閣     | 1989年9月 |
| 『寡占と情報の理論』                            | 東洋経済新報社 | 1990年8月 |
| 『リスクと情報——新しい経済学』                      | 勁草書房    | 1991年5月 |
| 『経済学の先駆者たち——<br>アダム・スミスからマーシャルまで』（共著） | 日本経済新聞社 | 1995年2月 |

『自由経済と倫理』（共著）	成文堂	1995年3月
『はじめての経済学』	有斐閣	1995年3月
『保険文化——リスクと日本人』（共著）	千倉書房	1995年9月
<i>Organization, Performance, and Equity: Perspectives on the Japanese Economy</i> （共著）	Kluwer Academic Publishers	1996年10月
『社会科学の新しいパラダイム』（共著）	ニッセイ出版（株）	1996年3月
『リスクの経済学——情報と社会風土』	有斐閣	1996年3月
『社会科学の新しいパラダイム』（共著）	ニッセイ出版（株）	1997年3月
『生活経済学入門』（共編著）	東洋経済新報社	1997年11月
『社会科学の日本的パラダイム』（共著）	ニッセイ出版（株）	1998年3月
『日本社会の再生』（共著）	ニッセイ出版（株）	2001年3月
『経済学の先駆者たち』文庫版	日本経済新聞社	2002年4月
『日本の選択——もうひとつの改革路線』（共著）	ミネルヴァ書房	2002年7月
『環境政策とマネジメント』（共著）	岩波書店	2003年4月
『リスク、環境および経済』（共編著）	勁草書房	2004年1月
『面白いミクロ経済学』	東洋経済新報社	近刊
『リスクに備える』（共編著）	ミネルヴァ書房	近刊
『リスク社会を見る目』	岩波書店	近刊
『リスクの経済思想』	勁草書房	近刊

### 辞典編纂

『リスク学事典』（共編著）	TBSブリタニカ	2000年7月
『改訂リスク学辞典』（共編著）	阪急文化出版社	近刊

### 翻訳

サミュエルソン(Samuelson, P.A.)『サミュエルソン 経済学体系第7巻——厚生および公共	勁草書房	1991年10月
---	------	----------

経済学』（共訳）		
ヴァリアン（Varian,H.R.）『入門ミクロ 経済学』（共訳）	勁草書房	1992年10月
サットン（Sutton,J.）『マーシャルを 現代に生かす』（監訳）	麗澤大学出版部	近刊
ナイト（Knight,F.H.）『リスク, 不確実性および利潤』	日本経済評論社	近刊

## 論文

産業連関と雇用	『国民経済雑誌』114-6 神戸大学経済経営学会	1966年
経済成長と内生的労働供給	『国民経済雑誌』117-3 神戸大学経済経営学会	1968年
An Axiomatic Approach to Input Demand Theory	<i>International Economic Review</i> 14-3	1973年
Equivalence of the Weak and Strong Axioms of Revealed Preference without Demand Continuity Assumptions: A "Regularity Condition" Approach	<i>Journal of Economic Theory</i> 8-3	1974年
Substitution and Expansion Effects in the Theory of the Firm : New Results in an Old Framework	『政経論叢』25-3 広島大学政経学会	1975年
Substitution and Expansion Effects in Production Theory: The Case of Joint Production ”	<i>Journal of Economic Theory</i> 9-3	1974年
Revealed Favorability, Indirect Utility, and Direct Utility	<i>Journal of Economic Theory</i> 14-1	1977年

Price Uncertainty and the Competitive Firm: An Elementary Analysis	『政経論叢』 26-6 広島大学政経学会	1977年
The Theory of the Firm under Price Uncertainty	『季刊理論経済学』 28-1 理論計量経済学会	1977年
Theory of Cost and Production under Price Uncertainty	『広島大学経済論叢』 1-4 広島大学経済学会	1978年
A Simple General Equilibrium Model of Production: Comparative Statics with Price Uncertainty	<i>Journal of Economic Theory</i> , 19-.2	1978年
不確実性と競争保険市場 ——簡単なモデル分析	『筑波大学経済学論集』 4 筑波大学経済学会	1979年
不完全情報と自己選抜 ——簡単なモデル分析	『広島大学経済論叢』 3-4 広島大学経済学会	1980年
不完全情報、逆選抜および道徳的危険 ——簡単なモデル分析	『筑波大学経済学論集』 6 筑波大学経済学会	1980年
Uncertainty and the Multiproduct Firm: A Duality Firm	『季刊理論経済学』 32-1 理論計量経済学会	1981年
危険度の変化について ——簡単な分析	『筑波大学経済学論集』 9 筑波大学経済学会	1982年
不確実性の経済学について ——現状と問題点	『京都大学数理解析研究所 講究録』 京都大学	1983年
危険回避と比較静学分析	『筑波大学経済学論集』 11 筑波大学経済学会	1983年
複占市場における情報の役割 ——需要不確実性のケース	『筑波大学経済学論集』 13 筑波大学経済学会	1984年
市場と組織——経済コミュニティの適正規模をめぐって	『コミュニティの適正規模に 関する学際的研究』	1985年

	筑波大学社会科学研究所	
シュタッケルベルク均衡とクールノー均衡 ——情報構造変化の厚生効果	『筑波大学経済学論集』.15 筑波大学経済学会	1985年
The Value of Information in a Simple Duopoly Model	<i>Journal of Economic Theory</i> .36-1	1985年
不確実性と貿易モデル	『現代における数学と 経済学の試み』京都大学 数理解析研究所	1985年
不完全情報と不完全競争—— クールノー均衡とベルトラン 均衡を中心にして	『筑波大学経済学論集』17 筑波大学経済学会	1986年
不確実性下の貯蓄行動について ——理論の現状と展望	『貯蓄の理論の現状と展望』 郵政省	1986年
不確実性と経済生活	『生活経済学会会報』.2-1 生活経済学会	1986年
Cournot and Bertrand Equilibria under Imperfect Information	<i>Journal of Economics</i> 46-3	1986年
日米摩擦と経済風土 ——AタイプとJタイプ	『日米摩擦の構造要因と対応策に かんする学際的総合研究』 筑波大学	1987年
製品差別化の下におけるクールノー 均衡とシュタッケルベルク均衡—— 【先手の利】か【後手の利】か	『筑波大学経済学論集』18 筑波大学経済学会	1987年
ベルトラン複占市場における 費用情報交換の厚生効果	『筑波大学経済学論集』19 筑波大学経済学会	1987年
情報の価値について——費用不確 実性とクールノー複占市場	『筑波大学経済学論集』19 筑波大学経済学会	1987年

- |   |  |       |
|---|--|-------|
| 不完全情報と経済活動——<br>心理的・社会的・生物的要因の影響  | 『生活経済学会会報』 4<br>生活経済学会                         | 1988年 |
| 不確実性と情報の経済学<br>——現状と問題点   | 『行動計量学』 16-1<br>行動計量学会                         | 1988年 |
| Oligopoly, Information and Welfare (共著)   | <i>Journal of Economics</i> 49- 1              | 1989年 |
| クールノーと現代  | 『筑波大学経済学論集』 23                                 | 1989年 |
| On the Exchange of Cost Information<br>in a Bertrand-Type Duopoly Model   | 『季刊理論経済学』 41<br>理論計量経済学会                       | 1990年 |
| 変動効果と効率効果——<br>クールノー複占と情報伝達   | 『筑波大学経済学論集』 24<br>筑波大学経済学会                     | 1990年 |
| 危険回避と情報伝達——<br>クールノー複占市場のケース (共著)   | 『三田学会雑誌』 83- 2<br>慶応義塾大学三田学会                   | 1990年 |
| Information Sharing in Oligopoly:<br>Overview and Evaluation. Part I,<br>Alternative Models with a<br>Common Risk | <i>Keio Economic Studies</i> 27- 2             | 1990年 |
| Information Sharing in Oligopoly:<br>Overview and Evaluation. Part II,<br>Private Risks and Oligopoly Models      | <i>Keio Economic Studies</i> 28-1              | 1991年 |
| The Impact of Risk Aversion on Information<br>Transmission between Firms (共著)                                     | <i>Journal Of Economics</i>                    | 1991年 |
| 情報化社会の進展と消費者への影響  | 『生活経済学会会報』 7<br>生活経済学会                         | 1991年 |
| Risk Aversion and Duopoly: Is<br>Information Exchange Always<br>Beneficial to Firms? (共著)                         | <i>Pure Mathematics and<br/>Applications 2</i> | 1991年 |
| 危険回避企業と費用情報の交換 (共著)   | 『筑波大学経済学論集』                                    | 1991年 |



	筑波大学経済学会	
クールノー・ベルトラン混合複占 ——数量戦略と価格戦略	『筑波大学経済学論集』 筑波大学経済学会	1991年
リスク費用・便益分析：レビュー	『日本リスク研究学会誌』 3-1 日本リスク研究学会	1991年
極大化モデルと情報入手の効果 ——新しいアプローチ	『筑波大学経済学論集』 筑波大学経済学会	1992年
The Informational Role of Distribution Systems in the Market Economy (共著)	<i>Studies in Regional Studies</i> 23-2	1992年
不確実性と経済的意思決定 (特集：環境情報と意思決定)	『季刊環境研究』 90 環境調査センター	1993年
リスクと情報 (不確実性と社会・経済)	『日本リスク研究学会誌』 5-1 日本リスク研究学会	1993年
The Role of Information in Profit- Maximizing and Labor-Managed Duopoly Models	<i>Managerial and Decision Economics</i>	1993年
経済学における安全とリスクの考え方	『国際交通安全学会誌』 19-4 国際交通安全学会	1993年
モラルハザードが問うもの	『セキュリティ』 72 セキュリティ研究会	1994年
流通と情報——市場経済に おける商人の役割	『広島大学経済論叢』 17-2 広島大学経済学会	1994年
市場経済における情報の交換—— 利潤極大化企業と労働管理企業	『現代経済社会における 諸問題：第1巻』	1994年
リスクと保険の経済分析	『国民経済雑誌』 170-3 神戸大学経済経営学会	1994年
市場経済と計画経済	『国際協力論集』 2-2	1994年

- 情報と流通の役割 神戸大学大学院国際協力  
研究科
- A. クールノー——数理経済学の祖 『経済学の先駆者たち』 1995年  
日本経済新聞編集部
- 投機と市場経済—— 『自由経済と倫理』 1995年  
人間の合理性と非合理性 郁文堂
- 安全のコスト 『予防時報』 181 1995年  
日本安全学会
- 和算と確率と保険と—— 『保険文化——リスクと日本人』 1995年  
日本人の数理思考 千倉書房
- 大相撲の巴戦を考える 『保険文化——リスクと日本人』 1995年  
——日本人の数理思考 千倉書房
- 厚生経済学から生活経済学へ 『国民経済雑誌』 172-3 1995年  
——新しいパラダイムをめざして 神戸大学経済学会
- 不完全情報と生命保険市場：モデル分析 『日本リスク研究学会誌』 7-1 1995年  
日本リスク研究学会
- Price and Quality Competition: *Keio Economic Studies* 32-2 1995年  
Do Mixed Oligopolies Constitute  
an Equilibrium? (共著)
- Repeated Contract Negotiations with *Japan and World Economy* 1995年  
Private Information: Comment
- 需要不確実性と流通チャンネル 『地域学研究』 23-1 1995年  
——市場経済における中間業者  
の役割 (共著) 日本地域学会
- 「経済人」と「あるがままの人間」 『社会科学の新しいパラダイム』 1996年  
——マーシャルを現代に生かす
- Demand Uncertainty and Distribution *Organization, Performance,* 1996年

- Systems: Information Acquisition and Transmission (共著) *and Equity: Perspectives on the Japanese Economy*
- ダニエル・ベルヌーイとアダム・スミス 『経済学の非西欧的パラダイム』 1997年  
——リスクの経済学の二人の先駆者 筑波大学
- 生活経済学の構想—— 『筑波大学経済学論集』 37 1997年  
マーシャルの伝統を現代に生かす 筑波大学経済学会
- リスク管理に関する経済手法 『日本リスク研究学会誌』 8-1 1997年  
——最近の動向 日本リスク研究学会
- 経済学におけるリスクと保険の考え方 『保険学雑誌』 556 1997年  
——古典を現代にどう生かすか 日本保険学会
- Economic Analysis of Risk and Insurance 『日本リスク研究学会誌』 8-1 1997年  
日本リスク研究学会
- マーシャルの伝統を現代に生かす 『生活経済学入門』 1997年  
——厚生経済学からのアプローチ 東洋経済新報社
- 信無くば立たず——厚生経済学 『生活経済学入門』 1997年  
からのアプローチ 東洋経済新報社
- 政策決定を支えるリスクの思想 『エネルギーレビュー』 18-2 1998年  
エネルギー研究会
- リスクマネジメントと国際化 『信頼性』 25-1 1998年  
——経済学的アプローチ 日本信頼性学会
- リスク、不確実性およびアニマル・スピリッツ 『社会科学の日本のパラダイム』 1998年  
——新しいパラダイムを求めて 筑波大学社会科学系
- Comments on Sample Selection *Japan and the World* 1998年  
in Credit Scoring Models *Economy*, 10-3
- 経済学は不確実性をどう扱ってきたか 『経済セミナー』  
経済評論社
- 生活経済学の構想と課題 『経済政策研連報告書』 1998年

	日本学術会議	
Risk and Insurance Problems	『日本リスク研究学会誌』10-1, 日本リスク研究学会	1999年
パスカルとリスク理論 ——現代経済学との接点	『筑波大学経済学論集』 筑波大学経済学会	1999年
経済におけるリスクの考え方 ——共感と血気の役割	『ESP』(Economy, Society and Policy) 経済企画庁, 338号	2000年
新世紀の経済生活を考える ——リスクと日本人	『郵政』1月号 郵政省	2001年
経済の再生と経済学の再生 ——新しいパラダイムを求めて	『日本社会の再生』 筑波大学社会科学系	2001年
経済の再生と経済学の再生	『進化経済学論集』5 進化経済学会	2001年
フォン・ノイマン, モルゲン シュテルンとゲーム理論の世界 ——ゼロ和ゲームの批判的再評価 (その1, その2)	『筑波大学経済学論集』 3月号, 4月号 筑波大学経済学会	2001年
高度情報化と経済政策学の研究方向	『経済政策研連報告書』 日本学術会議	2001年
リスク, 環境および社会 ——新しい経済科学を求めて	『彦根論叢』339号 滋賀大学経済学会	2002年
ミクロ経済学 (特集: ガイダンス経済学)	『経済セミナー』5月号 経済評論社	2002年
新しい世紀には新しい経済学を—— 「経済人」から「生活者」への道	『生活経済学研究』18巻 3月号, 招待論文 生活経済学会	2003年

- リスク、環境および社会——  
新しい経済科学を求めて 『貿易及び経済発展に伴う 地球規模環境リスクへの  
事前対応政策に関する総合的  
研究』 報告書, 筑波大学 2003年
- 環境リスクマネジメント 『環境の評価とマネジメント』 2003年  
岩波書店
- リスクの経済学について  
——現状と課題 『彦根論叢』 342号 2003年  
滋賀大学経済学会
- A Comprehensive Approach to  
Environmental Risk Management:  
Interactions of Economical And  
Psychological Factors *The 18th Pacific Regional  
Science Conference,  
Proceedings*
- 古くて新しい「リスクの経済学」 『経済セミナー』 7月号 2004年  
経済評論社
- 風険経済学：現状与課題（劉昌黎訳） 中国『財形問題研究』 246号 2004年  
5月号, 大連,  
東北財形大学
- 生活者によるエネルギー選択の合理性とは  
【特集：エネルギー選択の時代とは】 『CEL』 (Culture, Energy and  
Life) 64巻, 3月 2004年  
エネルギー・文化研究所
- 台湾と日本におけるリスク対応の相違と生活  
経済へのインパクト——液晶  
ディスプレイ業界を中心として 2004年  
(酒井隆志氏と共著) 『生活経済学研究』 20巻  
9月号, 生活経済学会
- 生活者から見たキャプティブ保険 『生活経済学研究』 20巻 2004年  
(前田祐治氏と共著)
- アジア経済のグローバリゼーション 『学術の動向』 9月号 2004年

——その「光」と「影」の 二つの部分を考える	日本学術会議	
リスクの経済学とは何か	『リスク時代の経済運営と 企業経営』滋賀大学リス ク研究センター』	2004年
Globalization of Asian Economy and the Role of Sciences for Sustainable Society: Japan Perspective	<i>Center for Risk Research</i> <i>Working Paper No.A- 4</i> <i>Shiga University</i>	2005年
環境保険と地域経済 ——保障機能と防災機能 (八頭司彰久氏との共著)	『地域学研究』35巻2号	2005年
地域経済におけるキャプティブ 保険の役割（前田祐治氏との共著）	『地域学研究』35巻2号	2005年
「ハイリスク・ハイリターン」型 対応と「ローリスク・ローリター ン」型対応——台湾のハイテク企業 の地域経済分析（酒井隆志氏との 共著）	『地域学研究』35巻3号	2005年

**論壇・解説・評論**

My First Travel in the United States	<i>Marginal Ties</i> 11, <i>University of Colorado</i>	1968年
不確実性と経済生活	『広島大学学報』 広島大学	1977年
経済学における「不確実性」と 「非合理性」について	『緑樹』1978年号 神戸大学	1978年
日本を考える	『中国新聞』	1978年

	中国新聞社	
根と鈍と運と——大学で何を学んだか	『筑波大学新聞』60号 筑波大学	1980年
林先生と平常心と小生と	『寒梅』 神戸大学	1988年
新しい経済学への胎動	『経済セミナー』 経済評論社	1989年
第二外国語を自由選択科目に	『筑波フォーラム』28 筑波大学	1990年
先生逝くも、熱弁残れり	『緑樹』1990年号 神戸大学	1990年
学生よ、大志を抱け	『筑波フォーラム』37 筑波大学	1994年
クールノー——革命と天才	『日本経済新聞』（10/15） 日本経済新聞社	1994年
クールノー——数学的表現の祖	『日本経済新聞』（10/17） 日本経済新聞社	1994年
クールノー——限界分析の応用	『日本経済新聞』（10/18） 日本経済新聞社	1994年
クールノー——生産者の競争	『日本経済新聞』（10/19） 日本経済新聞社	1994年
クールノー——1, 2, 3, …無限大	『日本経済新聞』（10/20） 日本経済新聞社	1994年
クールノー——不確実性の時代	『日本経済新聞』（10/21） 日本経済新聞社	1994年
『はじめての経済学』余滴	『書斎の窓』 有斐閣	1995年

- |                                     |  |       |
|-------------------------------------|--|-------|
| 「高信頼」大学への道                          | 【筑波フォーラム】45<br>筑波大学                                | 1996年 |
| 阪神大震災とリスク問題について (共著)                | 『日本リスク研究学会誌』7-1<br>日本リスク研究学会                       | 1996年 |
| 私が影響を受けた本——<br>高田保馬著『ケインズ論難』        | 【書斎の窓】466<br>有斐閣                                   | 1997年 |
| 学類の教育改善をめざして                        | 【筑波フォーラム】48<br>筑波大学                                | 1997年 |
| 金融ビッグバンと日本経済                        | 【筑波大学新聞】<br>筑波大学                                   | 1998年 |
| マーシャルの経済学へのまなざし<br>——「あるがままの人間」     | 【経済セミナー】519<br>経済評論社                               | 1998年 |
| 経済学は不確実性をどう扱ってきたか                   | 【経済セミナー】526<br>経済評論社                               | 1998年 |
| 生活経済学とはどういう学問か                      | 【生活経済学会東北部<br>会報告書】生活経済学会                          | 1999年 |
| 厚生経済学から生活経済学へ<br>——新しいパラダイムを求めて——   | 【パラダイム変換と経済社会<br>政策】日本学術会議,<br>経済政策連絡委員会<br>シンポジウム | 1998年 |
| リスクと日本人<br>——バブルから何を学ぶか             | 【常陽新聞】8月号  | 1999年 |
| 21世紀の市民生活におけるリスク<br>マネージメントの必要性について | 【土木学会誌】85号<br>巻頭論説 日本土木学会                          | 2000年 |
| 経済は効率でなく正義だった<br>——“M先生”から人生観を学ぶ    | 【経済セミナー】3月号<br>経済評論社                               | 2001年 |
| リスクに備える——リスクと                       | 【第3回甲子園大学公開シンポ                                     | 2001年 |



- |  |   |       |
|--|---|-------|
| 共存する思想と技術  | ジウム講演集』5月   |       |
| 謝辞（日本地域学会を代表して<br>琉球大学大会開催に対する謝辞）  | 『地域学研究』32巻1号  | 2001年 |
| 21世紀の日本社会とリスク<br>マネジメントのあり方  | 土木研究所資料3773号<br>国土交通省土木研究所  | 2001年 |
| 経済学の再生をめざして  | 『杉浦克己と私たちの時代』<br>杉浦克己追悼文集編集<br>委員会桜井書店, 10月                                       | 2002年 |
| 日本の自然と社会を考える<br>——リスクマネジメントは長く遠い<br>視点から（特集：リスクマネジメント）                           | 『地質と調査』4号, 12月<br>土木春秋社   | 2002年 |
| 謝辞（日本地域学会を代表して北星<br>学園大学大会開催に対する謝辞）  | 『地域学研究』33巻1号  | 2002年 |
| 『びわこ論集』の発刊を祝う  | 『びわこ論集』巻頭言,<br>滋賀大学大学院経済経営<br>研究会1巻1号, 3月   | 2003年 |
| 人間の研究としての経済学に惹かれて<br>（私が研究者になるまで21）  | 『学術の動向』1月<br>日本学術会議   | 2004年 |
| リスク研究で滋賀大学の一層の発展を  | 『しがだい』滋賀大学広報誌<br>18・19合併号, 4月   | 2004年 |
| Globalization of Asian Economy and the Role<br>of Sciences: Japanese Perspective | The 4 <sup>th</sup> Science Council of<br>Asia Meeting, Proceedings,<br>Seoul, 5月 | 2004年 |
| アジア経済のグローバリゼーション<br>——その「光」と「影」の<br>二つの部分を考える                                    | 『学術の動向』9月<br>日本学術会議   | 2004年 |
| 彦根と私   | 『彦根景観』1号  | 2006年 |

リスク研究の四十年 『リスク研究』 滋賀大学 2006年  
 リスク研究センター

## 書 評

- Loon, P.van, *A Dynamic Theory of the Firm : Production, Finance and Investment,* Springer Verlag Zentralbratt 1984年  
*für Mathematik*
- Fukuoka, M. et.al., *Topology and Economics,* Kyoto University Zentralbratt für 1987年  
*Mathematik*
- Sato, R. & Negishi, T.(eds.) *Developments in Japanese Economics,* Academic Press 『学灯』 86- 8 1989年  
 勁草書房
- 丸山雅祥『流通の経済分析』 創文社 『経済研究』 41- 1 1990年  
 一橋大学
- 丸山雅祥『流通の経済分析』 創文社 『季刊理論経済学』 1990年  
 理論計量経済学会
- 石井安憲『不確実性と競争・独占・貿易』 東洋経済新報社 『経済研究』 1990年  
 一橋大学41- 4
- 高尾厚『保険構造論』 千倉書房 『経済セミナー』 439 1991年  
 経済評論社
- Okuguchi, K. & Szidarovszky, *The Theory of Oligopoly with Multi-Product Firms,* Springer-Verlag 1991年
- Sinn, H.W., *Economic Decisions under Uncertainty,* North-Holland 『一橋論叢』 1992年  
 一橋大学
- Negishi, Takas hi, *History of Economic Theory* 『季刊理論経済学』 1992年  
 理論計量経済学会
- 菰田文男『現代世界経済と情報』 『エコノミスト』 1992年

- 通信技術』ミネルヴァ書房
- Novshek, W., *Mathematics for Economists*, Academic Press *Zentralblatt für Mathematik* 1994年
- Lorenz, H.-W., *Nonlinear Dynamical Economics and Chaotic Motion*. Springer-Verlag *Zentralblatt für Mathematik* 1996年
- 肥田野登『環境と社会資本の経済評価——ヘドニック・アプローチの理論と実際』勁草書房 『地域学研究』28-1 1997年  
日本地域学会
- White, J.A., Case, K.E., Pratt, D.B. & Agee, M.H., *Principles of Engineering Economic Analysis*, Wiley *Zentralblatt für Mathematik* 1998年
- Chichilnisky, G.(ed.)*Markets, Information, and Uncertainty: Essays in Economic Theory in Honor of Kenneth J. Arrow*, Cambridge Univ. Press *Economic Journal* 2001年
- 宇沢弘文『社会的共通資本』岩波書店 『筑波大学新聞』212号 2001年  
筑波大学
- 河野正道『経済発展と成長の基礎理論』有斐閣 『地域学研究』34-1 2004年  
日本地域学会
- 多々納裕一・高木朗義（編著）『防災の経済分析——リスクマネジメントの施策と評価』勁草書房 『高速道路と自動車』48巻11号 2005年
- 事典・辞典項目執筆**
- 消費理論の公理的アプローチ 『現代数理科学事典』1991年  
大阪書籍株式会社

生産理論の公理的アプローチ	『現代数理科学事典』 大阪書籍株式会社	1991年
不確実性下の経済行動理論	『現代数理科学事典』 大阪書籍株式会社	1991年
情報の価値	『数理情報科学辞典』 朝倉書店	1995年
情報の経済学	『数理情報科学辞典』 朝倉書店	1995年
不確実性下の行動計画	『数理情報科学辞典』 朝倉書店	1995年
逆選抜	『経営学辞典 (第2版)』 中央経済社	1999年
情報	『経営学辞典 (第2版)』 中央経済社	1999年
情報の価値	『経営学辞典 (第2版)』 中央経済社	1999年
情報の経済学	『経営学辞典 (第2版)』 中央経済社	1999年
社会経済的リスクの分析とマネジメント	『リスク学事典』 TBSブリタニカ	2000年
不確実な資産の分析と管理	『リスク学事典』 TBSブリタニカ	2000年
ゲーム理論と戦略リスク	『リスク学事典』 TBSブリタニカ	2000年
リスク分散	『リスク用語辞典』 丸善株式会社	近刊
リスクの経済学	『リスク用語辞典』	近刊

アニマル・スピリッツ

丸善株式会社

『リスク用語辞典』

丸善株式会社

近刊

[以 上]